

外国語版ホームページのあり方について

—千葉市行政ホームページ—

朴 鍾 杰*

外国人がそれぞれの生活する地域において、情報不足による不利益を被ることなく各種サービスを受け、一方で義務を果たしていくためにも、必要な情報をいかに入手することができるかが重要な課題である。また、行政や地域活動への参加を進めるためにも、行政に関する情報の入手は大変重要なことである。

しかし、千葉市の中で居住歴10年未満のニューカマーは14,087人で全体の約8割を占めており、日本語能力の問題から、千葉市がホームページ上で提供する日本語情報をすべて理解できないのが現状である。

そこで、本研究は千葉市の外国語版ホームページの現状を把握し、そのあり方についての検証を行った。まず、千葉市に居住する外国人が生活に必要とする情報の種類と必要性についてアンケート調査を行なった。アンケート結果から生活に必要とするコンテンツの優先順位を決めた。

その結果、千葉市在住外国人のために提供するホームページは在日歴が長い長期滞在者（初級レベルの日本語が能力がある）と在日歴の短い短期滞在者（日本語能力が不足している）のために2種類を用意し、長期滞在者のためにはルビ付きやさしい日本語ホームページを、短期滞在者のために現在提供している各外国語別版ホームページを提供する必要があることが明らかになった。

キーワード：行政ホームページ、外国語版、やさしい日本語、コンテンツ

Foreign Language Edition Home Page. — Chiba City Administration Home Page —

JongGeol Park

The problem of foreigners living in Japan is that they can not avail of the services from the area where they live because of insufficient necessary information they need. In addition, the information regarding the administration is important in order to improve participation with the administration and community activities.

However, 14,087 residents with less than 10 years residence is about 80% of the whole Chiba City residents. At the present condition they can not entirely understand all the Japanese information that Chiba City provides on the home page because of Japanese understanding ability. For the sake of these residents the city made a research based from the present condition of foreign language edition home page of

*東京情報大学総合情報学部環境情報学科

Tokyo University of Information Sciences, Faculty of Informatics, Department of Environmental Information

Chiba City and came up with two ideal method to solve this problem. 2 types of homepage were prepared: homepage for Chiba City long term residents (with beginners' Japanese level ability), and for short term residents, whose residence is short (Japanese level ability is insufficient). For long term residents, the Japanese homepage is easy and with rubric. It is necessary for each foreign language to have its own language edition home page which is presently offered for short term residents.

Keyword : foreign language edition home page, adminstration home page, contents

1. はじめに

現在、千葉市ホームページのコンテンツのほとんどは、当然のことながら日本語で提供されている。しかし、国際化の進展により、千葉市在住の外国人は、平成2年の5,994人から平成17年の18,083人へと年々増加しており、世界的なボーダレス化の進行により、今後も増加することが見込まれている。

外国人がそれぞれの生活する地域において、情報不足による不利益を被ることなく各種サービスを受け、一方で義務を果たしていくためにも、必要な情報をいかに入手することができるかは重要な課題である。また、行政や地域活動への参加を進めるためにも、行政に関する情報の入手は大変重要なことである。

しかし、千葉市の外国人登録者数は平成17年3月31日現在18,083人、その中で居住歴10年未満のニューカマーは14,087人で全体の約8割を占めており、日本語能力の問題から、千葉市がホームページ上で提供する日本語情報をすべて理解できないのが現状である。そのため、多くの行政機関のホームページでは外国語版サイトを提供しているがその多くは、ゴミの出し方や借家の賃貸など、基本的な日常生活において必要とする事柄が主になっている。

しかし、2～3年程度の短期間の在住ではなく、長期間の在住者の場合は、基本的な日常生活情報より、子育て、学校情報、ボランティア、介護などの日本人と同じく多様な情報が必要とされるのである。

また、地方分権化の進展による各都市間の競

争時代の到来は、海外向けのPR（＝シティセールス）コンテンツの整備を求めるものであり、こちらにも当然のことながら、外国語版コンテンツが必要とされている。こうした事情からも、千葉市ホームページの外国語版コンテンツの整備が求められているのである。

そこで、本研究は千葉市の外国語版ホームページの現状を把握し、そのあり方についての検証を行った。

本研究の流れは以下のとおりである。

1. 現在千葉市が提供している外国語コンテンツの現状の把握
2. 他自治体（外国を含む）との比較
3. 外国人に対するアンケート調査と解析
4. 外国人向けホームページに必要なコンテンツの優先順位の提示
5. 外国人に理解しやすいホームページの作成方法

以上について、考察を行い、千葉市在住の外国人への情報提供と、世界へ向けての千葉市のメッセージを乗せた千葉市外国語版ホームページを作成するためのガイドラインを提案する。

2. 千葉市ホームページ外国語版サイトの現状

現行の千葉市のホームページ管理体制は、千葉市ホームページ作成ガイドラインに準じて、独自のホームページ作成ツールである千葉市情報提供システムを利用し、各所管でコンテンツを管理運営することを基本としている。これに従い、各所管では、コンテンツを作成し、提供

している。千葉市ホームページの作成及び管理の組織体制を図1に示す。

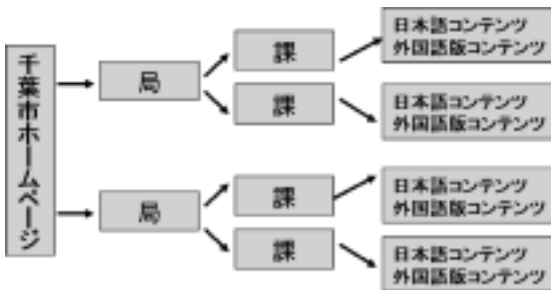


図1 千葉市ホームページの運営体制

外国語版サイトも日本語版サイトの作成ガイドラインに沿って、各所管でその必要性を考慮の上、翻訳し公開している。しかし、外国語版サイトのコンテンツは、日本語版サイトのコンテンツに比べると非常に少ないのが現状である。外国版サイトは千葉市ホームページ作成の基本原則から大きく離れたものであるといわざるを得ない。その主な原因としては、各外国語版の翻訳に多大なる手間とコストがかかることがある。

外国語版サイトは千葉市ホームページのトップからリンクされている。外国語版サイトは英語、中国語、韓国語、スペイン語、ポルトガル語など5つの言語を提供している。しかし、各外国語版サイトのコンテンツは日本語サイトのコンテンツと比べると情報量が非常に少なく、また外国語版同士でもコンテンツの種類が異な

る。表1は5つの外国語版サイトのコンテンツを比較した結果である。

千葉市が提供している外国語版ホームページは視覚的にも内容的にも充実しているとはいえない。まず、ホームページの多様な機能（図やアイコン、背景など）を使わずに、文のみで構成された硬い印象を与えている。また、ホームページの多くのコンテンツがPDFファイルであるため、HTMLファイルより管理は運営上不便な面が多い。PDFの問題点としては、まず、1. Acrobatリーダーをインストールする必要がある。2. 動画や検索機能、リンクなどHTMLの長所が利用できない。3. 更新に手間がかかる。HTMLの場合更新した内容のみ変更すればよいが、PDFは元ファイルから変更し保存する必要がある。4. データを開くのに時間がかかる。5. 外国語PDFを表示する際フォントのインストールが必要である。また、外国語版ホームページの目的として、在住外国人のための情報提供と世界への千葉市のシティセールスがあるが、現状ではあまりよいシティセールス効果があるとはいえない。

3. 他自治体との比較

千葉市以外の日本の行政や外国の行政ホームページのコンテンツを比較検討することにより、国際的に通用する行政ホームページに必要とされるコンテンツを提示する。ここでは、リ

表1 千葉市外国語版ホームページのコンテンツ

	英語版	中国語版	韓国語版	スペイン語版	ポルトガル語版
市長挨拶	○	○			
千葉市生活ガイドブック	○	○	○	○	○
防災ガイド	○				
正しいゴミの出し方	○	○	○	○	○
千葉市プロフィール	○				
千葉市図書館	○				
千葉市国際交流内容	○				
意見	○				
(財) 千葉市国際交流協会		○	○	○	

スト1は千葉市行政ホームページと比較を行う日本と外国の行政ホームページの一覧である。

リスト1 千葉市ホームページと比較を行ったホームページの一覧

日本の行政ホームページサイト

東京都 <http://www.metro.tokyo.jp/>
横浜市 <http://www.city.yokohama.jp/front/welcome.html>
大阪市 <http://www.city.osaka.jp/index.html>
川崎市 <http://www.city.kawasaki.jp/>
京都市 http://www.city.kyoto.jp/koho/ind_h.htm
北海道 <http://www.pref.hokkaido.jp/menu.html>

外国の行政ホームページサイト

韓国－ソウル市
<http://www.metro.tokyo.jp/>
中国－北京市
<http://www.beijing.gov.cn/>
上海市
<http://www.shanghai.gov.cn/>
香港市
<http://www.investhk.gov.hk/index.aspx?lang=4>
アメリカ－ニューヨーク市
http://www.ci.nyc.ny.us/portal/index.jsp?front_door=true
ヒューストン市
<http://www.houstontx.gov/>
ロサンゼルス市
<http://www.ci.la.ca.us/>
ボストン市
<http://www.cityofboston.gov/>
ハワイ州
<http://www.hawaii.gov/portal/>
ワシントン州
<http://access.wa.gov/>
アリゾナ州

<http://homepage2.nifty.com/arizonapan/>

イギリス－ロンドン市

http://www.london.gov.uk/gla/city_hall/index.jsp

フランス－パリ市

http://www.paris.fr/portail/accueil/Portal.lut?page_id=1

ドイツ－ベルリン市

<http://www.berlin.de/>

日本の多くの行政ホームページは、英語版をはじめ多くの外国版サイトを持ち、それぞれのシティセールスに適したサイト構成で運営している。また、共通の特徴としては、英語版では生活ガイドを含め、行政ニュースやビジネスのコンテンツをもち、英語版以外のサイトである中国語版や韓国語版などでは、主に生活ガイドのみを提供する自治体が多く見受けられる。

海外では、韓国ソウル市の場合、外国語版サイトとして英語、日本語、中国語など6種のサイトを運営しており、特に英語、日本語、中国語は国内サイトとほぼ同じ内容を提供している。中国の北京市や上海市の場合、英語版のみの外国版サイトを運営し、国内サイトとほぼ同じ内容を提供している。また、ビジネスホームページを別の部署で管理し、英語版と日本語版サイトを運営し、投資を積極的に誘致している様子が伺える。アメリカの場合、ワシントン州では6種の外国語版サイトを運営し、基本的な生活情報を提供している。ヒューストン市ではスペイン語を提供している。しかし、その他多くの行政サイトでは生活ガイドのための外国語版サイトを提供していない。いくつかの州のサイトでは外国語版サイトが見られるが、主にビジネスや観光を目的とするコンテンツを提供している。

フランスのパリ市の場合、英語版サイトを運営しており、英語版サイトから観光サイトを経由して10カ国語の観光サイトが閲覧できる。

英語を共通語として使用しているアメリカ、カナダ、イギリスなどの国では基本的に英語のみの外国語版サイトを持ち、必要に応じて最低限の外国語版サイトを運営している。英語以外を母国語として使用しているフランス、ドイツ、ブラジルでは必ず英語版サイトを持ち、内容も充実していることがわかった。

日本の他自治体サイトや外国の自治体サイトには一つの共通点がある。最低限、英語版サイトを持つことである。英語を母国語として使っていないドイツやフランス、ブラジル、中国、韓国でも英語版サイトを運営しており、主にビジネスコンテンツや観光コンテンツを多く提供している。すなわち、自治体に在住している外国人向けというより、海外へのシティセールスであることがわかる。つまり、インターネットにおいては、英語が事実上の世界標準語であり、地理的距離や国境を越えて情報を発信することができるという特徴を最大限に利用し、運営しているのである。

4. 外国人に対するアンケート調査と解析

4-1 アンケート作成と実施

日本国国民が生活する上で必要とする情報と、外国人が日本で生活するために必要とする情報は滞在資格や文化などによって違いがある。そこで、外国人が日本で生活するために必要とする情報を調べるためにアンケート調査を行った。まず、アンケート項目を決めるための事前調査を行った。事前調査は学生、主婦、会社員などの20人の外国人によって行われ、アンケートの項目を大きく9つの項目に分けた。また、9つの項目は以下のように細分化し、必要性に応じて5段階評価を行うように作成した。

1. 基本情報と言語の理解：性別、国籍、年齢、職業、理解できる言語、日本語能力、居住年数、ホームページの閲覧の有無など
2. 千葉市の情報：市長の挨拶、行政組織、重要政策、シンボル、国際交流、行政ニュース、広報、施設案内、気候など
3. 緊急時の情報：火災、地震、緊急避難場所、救急診療、事故・事件、緊急事態発生時の対応など
4. 千葉市の文化・観光：観光スポット、宿泊ガイド、グルメ、ショッピング、歴史、文化や習慣など
5. 生活ガイド：住宅、引越し、ゴミ、教育、医療、交通、運転、税金、郵便、金融、福祉、イベント（講演会）など
6. 在留手続き：外国人登録、帰化、印鑑登録、戸籍など
7. コミュニケーション：行政への質問、掲示板、相談窓口、日本人と友達になろうなど
8. 留学：日本語学校、専門学校、大学、大学院などの案内、寮やホームステイ、留学生との相談会など
9. ビジネス：育成産業、外国人の投資、外国人雇用、日本円の通貨など

アンケートは日本語、英語、中国語、韓国語、フィリピン語（タガログ語）、タイ語など6カ国語に翻訳された。アンケートの実施は東京情報大学、千葉大学、東京入国管理局千葉出張所前、千葉市国際交流協会等179人を対象に平成17年11月に行った。

4-2 アンケート調査結果

図2は国籍別に見た回答者の割合で、中国人が74.6%を占め、全体のほぼ7割を超えている。続いて韓国人が15.2%を、台湾人が7.2%を占めている。その他にはフィリピン人、ブラジル人、アメリカ人、ペルー人等がいる。

日本語能力では、回答者の74%がひらがなとカタカナが非常によく分かり（図3）、また52%が十分な会話能力を持っていることが分かった（図4）。生活に必要な情報の取得方法は「友人を通じて得る」が36%を占め、続いて「本や雑誌」が24%、「他のホームページ」

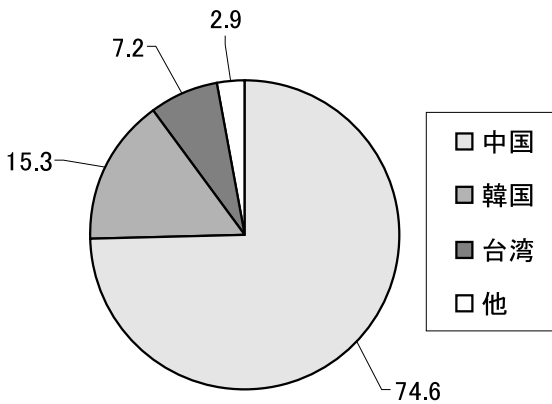


図2 回答者の国籍

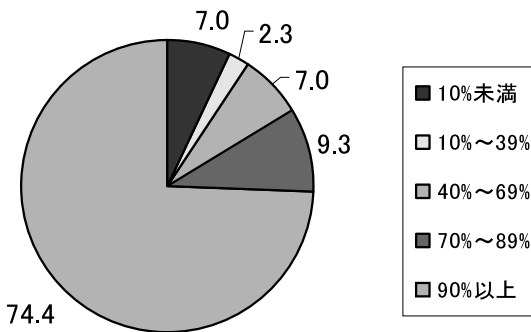


図3 ひらかな、カタカナ能力

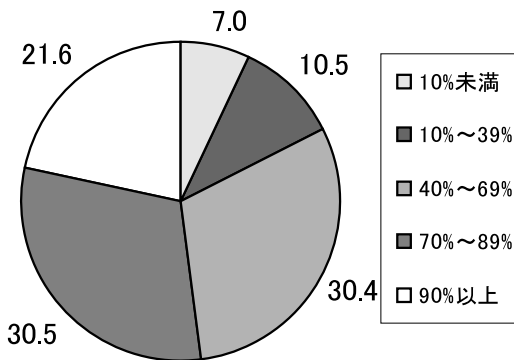


図4 会話ができる能力

が15%を占めている（図5）。

アンケートの結果から、外国人に必要とされているコンテンツの優先順位を表2に示す。優先順位の決定は、各評価の重みとアンケート結果の割合を掛け算し合計した値が大きい順に並び替えたものである。各項目の重みは、「絶対

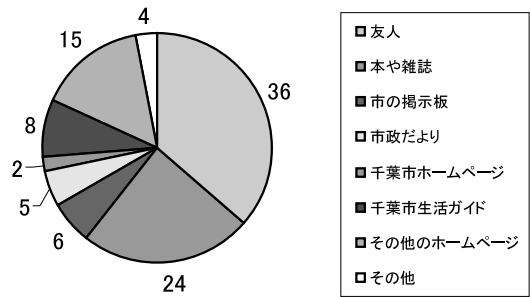


図5 生活に必要な情報取得方法

必要」を5、「あったほうがよい」を4、「どちらでもよい」を3、「あまり必要ではない」を2、「無くてもよい」を1として用いた。

表2 コンテンツの優先順位

項目（重みの平均）	内容（重み）
1. 緊急事態への対応（4.6）	緊急避難場所（4.7） 救急診療に関する情報（4.7） 地震等の災害発生に対する対応（4.6） 救急診療（4.6） 事件・事故への対応（4.5）
2. 在留手続き（4.4）	外国人登録（4.6） 在留手続き（※入国管理局所管）（4.5） 帰化手続き（※入国管理局所管）（4.4） 印鑑登録（4.3） 戸籍（4.3）
3. ビジネス（4.3）	外国人支援行事（外国人総合支援センター）（4.6） 外国人雇用（4.4） 外国人投資（4.3） 育成産業（4.0） ビザ取得（4.5）
4. 留学情報（4.3）	寮やホームステイ（4.3） 専門学校、大学、大学院（4.2） 日本語学校（4.2） 現在留学生の体験談（4.2）

5. 生活ガイド (4.2)	医療 (4.5) 住宅 (4.4) 教育 (4.4) 交通 (4.4) 転入・転居・転出 (4.2) ゴミ (4.2) 郵便・通信 (4.2) 金融 (4.2) 福祉 (4.1) イベント (講演会) (3.9) 税金 (3.8)
6. 観光・文化 (4.1)	観光スポット (4.2) 宿泊施設 (4.2) 文化と習慣 (4.1) グルメ (3.9) 歴史 (3.9)
7. コミュニケーション (4.0)	日本人と友だちになろう (4.2) 相談窓口 (4.1) 掲示板 (4.0) 行政への質問 (3.9)
8. 千葉市情報 (3.7)	施設案内 (4.2) 気候 (4.2) 国際交流 (4.1) 広報 (3.4) 市長挨拶 (3.0)

この結果から、日本語版サイトのコンテンツには設けてない「在留手続き」が上位に位置していることが分かる。これらは、外国人として日本に滞在するために、必要不可欠なものである。

5. 外国人が読みやすいホームページとは

千葉市では行政からのお知らせやイベント情報などを記載した「ちば市政だより」を毎月1回住民に配布している。また、同じ内容を行政ホームページに登録している。「ちば市政だより」は市民が生活に有益な情報を得る手段の一つである。しかし、外国人居住者のために「ちば行政だより」などの情報サイトをすべて外国語化するのは多くの時間とコストがかかるため

行政の外国語サイトがうまく機能していないのが現状である。そこで、「ちば行政だより」のように更新が早い日本語サイトを外国語化せずに外国人居住者が読みやすいようなサイト作成方法について検討した。

外国人が生活において行政からの情報を市政だよりや行政ホームページを通じて得る場合は全体の7%で非常に少ない。主な理由としては漢字や難しい単語が混ざっている文章を読むのが苦手であるからである。

そこで、アンケート調査の結果から以下の対応策を提案する。

1. ひらがなやカタカナが読める (83.7%)。
→ルビ付き日本語やひらがなで記述された日本語であればより理解しやすい。
2. 漢字が読める (理解できる) (77.5%)。
→千葉市では漢字を理解できる中国や韓国人の割合が非常に高い (61%)。
そのため、ひらがなやカタカナのみより、漢字を読んで内容を理解できる場合が多いため簡単な漢字は残す。
3. 日本語で会話が出来る (82.4%)。
→硬い文書の書き方ではなく、話し言葉で書けばより理解しやすい。
4. 聞き取りが出来る (81.6%)。
→千葉市のホームページには読み上げソフトがあるため、文字を読まなくてもコンピュータから音声が出る。そのため、会話が出来る程度の能力であれば文章が理解できる。

このように、外国人であってもやさしい日本語であれば、十分にホームページの内容を理解できると考えられる。そして、外国人でも理解しやすいやさしい日本語とは以下の要件を備えているものとして定義する。

1. 外来語表現のカタカナは英語も併記する。
カタカナの発音は必ずしも言語に近い発音ではない。理解できない場合が多い。
例) サザンオールスターズでサザンとsouthernとの発音の違いがある。

2. 単語と単語の間にスペースを入れる。

多くの外国語は単語と単語の間が区切られて一つの単語が分かりやすい。

日本語の場合、すべてつながっているため、読んでも一つの単語がどこまでか分からない場合が多い。

3. 難しい漢字、表現、単語は避け、小学校低学年が理解できるレベルの言葉で書く。また、すべての漢字にルビを入れる。(外国人が日本語学校で勉強する初級レベル(日本語能力試験3、4級))。

以下は上記の提案をもとに、実際に「ちば市政だより」に掲載された内容をルビ付きやさしい日本語に直した例である。

クーリング・オフ制度

「クーリング・オフ制度」は、訪問販売などで商品取引契約をした後でも、一定期間内であれば消費者が自由に契約を解除できる制度です。

クーリング・オフは、解除の通知書を送ることで、一方的に契約を解除でき、商品を返品すれば、代金全額の返金を請求できます。通知書の書き方など、くわしくは、消費生活センターにお問い合わせください。

適用されない場合(例)

- (1) 通信販売で商品やサービスなどを購入したとき
 - (2) 化粧品や健康食品などの消耗品を使用したとき
 - (3) 3,000円未満の商品を現金で購入したとき
 - (4) 金融商品や電話サービスなど、法律で指定されていない商品・役務であるとき
- － 2006年1月15日「ちば市政だより」より

クーリング・オフ (cooling-off) 制度

「クーリング・オフ制度」は、訪問販売などで商品を買った後でも、一定期間内

であれば消費者が自由に返品できる制度です。

クーリング・オフは、解除の通知書を送り、商品を返品すれば、全額の返金を請求できます。通知書の書き方など、くわしくは、消費生活センターに連絡ください。

適用されない場合(例)

- (1) 通信販売で商品を買ったとき
 - (2) 化粧品や健康食品などの消耗品を使用したとき
 - (3) 3,000円未満の商品を現金で買ったとき
 - (4) 金融商品や電話サービスなど、法律で指定されていない商品
- またはサービスであるとき

表3は日本語能力レベルが1・2級に分類される単語をもっと簡単な単語に置き換えた例である。

表3 1・2級日本語レベルと3・4級日本語レベルの単語

1・2級日本語レベル単語	3・4級レベル単語
取引契約	買う
契約解除	返品
お問い合わせ	連絡
役務	サービス
購入	買う

6. 円滑な外国語版サイトの運営

千葉市の組織には国際交流課があり、主な仕事内容としては、1. 国際交流及び国際協力の推進に係る企画及び調整、2. 外国都市との提携その他外国との交流、3. 国際交流団体との連絡、4. 財団法人 千葉市国際交流協会との連絡及び調整、など常に外国人との関わりを持っている。

また、国際交流課ではすでに

1. 他所管から要求があれば日本語版コンテ

ンツを外国語に翻訳

2. 外国人生活ガイドブック提供

などの経験が多く、外国語版コンテンツ作成のノウハウを持っている。

そこで、円滑な外国語版サイトの運営のために以下の方法を提案する。国際交流課は外国版ホームページのトップページを管理し、基礎となるデザインを作成する。また、各所管では外国語版ホームページを作成する際、アンケート調査結果から得られた優先順位を考慮した上、コンテンツを管理する。また、国際交流課は、所管での翻訳作業を支援し、外国語版トップページに公開された外国語版コンテンツへのリンクを貼付する。その流れを図6で示す。

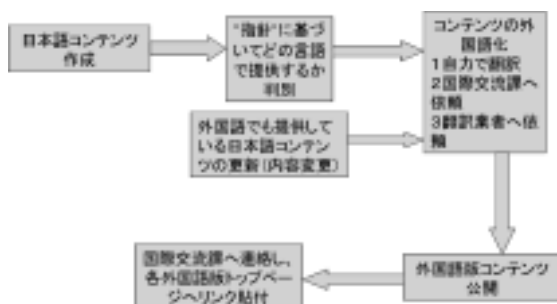


図6 円滑な外国語版サイトの運営方法

7. 終わりに

本研究は、千葉市行政が提供する外国語版サイトのコンテンツを充実させることを目的として行った。外国語版サイトの主な目的は、千葉市居住外国人への情報提供と世界に向けたシティセールスである。

そこで、千葉市居住外国人への情報提供のためのサイトはすべての内容を各外国語版に翻訳するのではなく、基本的な生活に関するコンテンツのみを外国語化し、他の内容はルビ付きやさしい日本語版で提供する方法を提案した。長期滞在の外国人はある程度日本語が解るため、日本語サイトで更新頻度が高い内容である新着情報やトピックス、市民参加、「ちば市政だより」などは、ルビ付きやさしい日本語で十分だ

と判断した。短期滞在者のためには、ほとんど更新がない緊急時の情報、生活ガイドや在留手続きに対する外国語版コンテンツを提供する必要がある。

また、千葉市が世界に向けたシティセールスとして千葉市情報、ビジネス、観光・文化のコンテンツでは可能であれば多くの外国語版での提供が望ましいが、事実上の世界標準語である英語で提供すれば十分であると判断した。

以上のように外国語サイトを運営すれば、初期段階では多くのコンテンツを外国語化する必要があるためコストと手間がかかるがその後はルビ付きやさしい日本語でサイトを運営するため運営コストが軽減できると予測される。

謝辞

本研究は、平成17年千葉市・大学等共同研究事業として「外国語版ホームページのあり方について」を実施したものである。関係各位に感謝の意を表する。

参考文献

「やさしい日本語」を用いて減災研究、弘前大学人文学部社会言語学研究室

<http://human.cc.hirosaki-u.ac.jp/kokugo/ej-index.html>

千葉市、「千葉市在住外国人意識調査報告書」2001
国際交流基金・日本国際交流協会、「日本語能力試験出題基準」2004

千葉市行政ホームページ：

<http://www.city.chiba.jp/index.html>

東京都行政ホームページ：

<http://www.metro.tokyo.jp/>

横浜市行政ホームページ：

<http://www.city.yokohama.jp/front/welcome.html>

大阪市行政ホームページ：

<http://www.city.osaka.jp/index.html>

川崎市行政ホームページ：

<http://www.city.kawasaki.jp/>

京都市行政ホームページ：

http://www.city.kyoto.jp/koho/ind_h.htm

北海道行政ホームページ：

<http://www.pref.hokkaido.jp/menu.html>

ソウル市行政ホームページ：

<http://www.metro.tokyo.jp/>
北京市行政ホームページ：
<http://www.beijing.gov.cn/>
上海市行政ホームページ：
<http://www.shanghai.gov.cn/>
香港市行政ホームページ：
<http://www.investhk.gov.hk/>
ニューヨーク市行政ホームページ：
<http://www.ci.nyc.ny.us/portal/>
ヒューストン市行政ホームページ：
<http://www.houstontx.gov/>
ロサンゼルス市行政ホームページ：
<http://www.ci.la.ca.us/>
ボストン市行政ホームページ：
<http://www.cityofboston.gov/>
ハワイ州行政ホームページ：
<http://www.hawaii.gov/portal/>
ワシントン州行政ホームページ：
<http://access.wa.gov/>
アリゾナ州行政ホームページ：
<http://homepage2.nifty.com/arizonajapan/>
ロンドン市行政ホームページ：
http://www.london.gov.uk/gla/city_hall/index.jsp
パリ市行政ホームページ：
<http://www.paris.fr/portail/accueil/>
ベルリン市行政ホームページ：
<http://www.berlin.de/>